

Tanar'ri と Obyrith

デーモンにはいくつかの種類があります。新しい種類を Tanar'ri、古い種類を Obyrith と言います。Obyrith は Abyss の混沌から生まれてきた存在であり、人間の常識を越えた存在です。彼らを見ると、気が狂ってしまいます。

一方 Tanar'ri は、人間の悪人が死んで Abyss に行き、そこで生まれ変わった姿です。従って人間の特徴を残した姿形をしています。

昔、Obyrith は Queen of Chaos という強力な支配者の元 Abyss の第一勢力でした。ある時、Queen of Chaos は Wind Duke など Law の軍勢と戦争を始めました。結局 Queen of Chaos は戦争に負けたのですが、この隙を突いて Tanar'ri は Obyrith の地位を奪い取りました。Prince of Demon の称号は Obyrith の Obox-ob から Demogorgon へと移りました。Obyrith の時代は終わったのです。

何人かの Obyrith は、Tanar'ri と仲良くやっていくことを決めました。Pazuzu や、Dagon などがそうです。他の Tanar'ri は放逐されたり、Abyss のより深い階層で復讐のチャンスをうかがうようになりしました。

Gwynharwyf と Demogorgon

Eladrin は Demon と同じ Chaos ですが、同じ Chaos であるだけにより Demon が許せないのです。そこで Queen of Chaos が Battle of Pesh で敗退した時を見計らって、Abyss に戦争をしかけました。これも、Obyrith が衰退した一因であると言われています。

それ以降、Demon と Eladrin の間では度々戦争が行われました。そんなある戦争で、Gwynharwyf は Demogorgon に捕らえられてしまいました。Queen Morwel はマジギレし、本気で Gaping Maw に攻め込み、Gwyn を助け、ついでに Demogorgon の左腕であった Bar-lgrua の王、Ilsidahur the Howling King を殺していきました。捕らえられていた間 Gwynharwyf が何をされたのかは不明ですが、今でも Gwynharwyf は Demogorgon のことを強く憎んでいます。

Vast Gate

はるか昔、一団の Elf がこの世ならざる地を求めて研究を重ね、ついにその地へと至るゲートを完成させました。これこそが Vast Gate であり、そこからつながる地は Far Realm と呼ばれています。Far Realm は Psuedo natural creature の原産地、狂気の支配する、この世界、Great Wheel とは異なるルールの地です。そこに留まった者は、例外なく気が触れてしまいます。

さて、出来たゲートはもちろん制御できず、化け物があふれてきました。また、ゲートを開けた影響で、そのゲート以外にもいくつかの場所で Far Realm と Great Wheel が接してしまいました。この問題に対処するために組織されたのが Keeper of Vast Gate と呼ばれる戦士の一団です。Far Realm の狂気に耐えるため精神的な訓練を積んだ彼らの多くは、Psionic の能力を備えていたと言われています。

彼らの活躍で Far Realm の侵攻は食い止められ、また Gate も閉じられました。ところが、もともと Gate を作った魔術師の一人、Daruth Winterwood (Elf Lich) はあろうことか Far Realm に Xaxox という砦を作り、Far Realm と Material Plane をつなげる新たな、そしてさらに巨大な Gate を作り始めたのです。Keeper of Vast Gate はこれを阻止するために Xaxox 砦に侵攻し、Daruth を消滅させました。しかしこの戦いによって Keeper の構成員はほぼ全滅。組織として崩壊し、残ったメンバーもちりぢりになったと言います。

最後の戦場となった Xaxox 砦には、今も戦士達の使っていた装備が眠っていると言われています。

Charon

スティクス川の渡し守です。Charon は Unique な Yugoloth で、その存在自体が River Styx と分かち

がたく結びついていると言われています。そして River Styx は、世界に死者が存在する限り流れ続けると言われており、従って Charon は神々と同じかそれよりも古い起源を持つクリーチャーであり、また神々より長く存在するクリーチャーになるだろうと推測されています。

Charon 以外にもスティクス川の渡し守は存在します。それは Marraenoloth という Yugoloth の一種で、彼らは Charon と同じような見た目をしていますが、Unique な存在ではありません。

Charon や Marraenoloth は必ず skiff (櫂で漕ぐ一人用の小舟) に乗っていますが、この船を作成するまた別の Unique な Yugoloth が存在すると言われています。

Iggwilv

Iggwilv, またの名を Witch Queen は極めつけに邪悪なアーチメイジです。彼女の生まれは不明ですが、Baba-yaga の娘との噂もあります。若い頃 Tasha という名で、有名なマッドアーチメイジ、Zagig の弟子として彼の Compony of Seven に入っていたこともありました。その後、彼女は召喚術を極め、Price of Demon, Graz'zt を召喚します。また、強力なゲートの呪文を使って彼女はアビスのデーモンを大量に Material Plane に召喚し、Flaness を支配しようとしてしました。しかし、彼女が Flaness の北半分を征服した時、冒険者達が伝説のアーティファクト、Crook of Rao を Isle of Apes で見だし、Rao の神官がその杖を発動させたことで Material Plane 上の全 Outsider は出身次元界に Banish されました。これによって Iggwilv は戦争に負け、直後に支配を逃れた Graz'zt によって Abyss へと連れ去られ、幽閉されたとの話です。

この Iggwilv と Graz'zt の間に出来た子供が、Iuz the Old、半神の Iuz です。Iuz は母親が残した国のトップとなり、グレイホーク戦争と呼ばれる悲惨な戦争を引き起こしました。

現在 Iuz は北方の国を支配していますが、戦争状態にはありません。今世界は徐々に Greyhawk 戦争の傷から回復しようとしているところなのです。

Olman 帝国

Olman 帝国は昔南の方で栄えていた帝国で、今はもう滅びている。その末裔は今でもジャングルで文化レベルの低い生活をしている。

Olman の神話

Olman 帝国は独自の神話体系を持っている。Ailee が首にかけている Amulet は死の神である Mictlantecuhtli(LE) を象ったものらしい。また、Lucallos の手紙にあった煙を吐く鏡というのは月の神 Tezcatlipoca(CE) の別名。また、大気の神 Quetzalcoatl(LN) などが知られている。

とはいえ、その神話の多くは失われているという。

Dagon

Dagon は Prince of Depths と呼ばれる Abyss の Demon Prince の一人で、Abyss の第 89 層、The Shadowsea の支配者である。Dagon は古き Demon であり、その崇拝の歴史は有史以前にもさかのぼるという。その信奉者は未開の地の漁師から海底に住む化け物どもまで様々である。

Demogorgon

Demogorgon は Abyss の第 88 階層、Gaping Maw の支配者であり、「Prince of Deamons」の称号を恣にする恐るべき Demon である。PC 達は Isle of Dread の不気味な森で、Demogorgon の神殿を破壊した。

Isle of Dread

Sasserine から南へ南へと旅していくとある島。呪われた島と呼ばれ、その中心にある最大の島は禁忌の場所らしい。周囲にある島々は比較的安全で、原住民などが生活している。

昔は Olman 人が住んでいたそう。

噂によると、蜘蛛の悪魔が密林に生息し、その手にかかったものは奴隷にされ、数々の邪悪な実験に利用されるという。

Phanaton

Isle of Dread の森の中に生息するモモンガ様の Humanoid。薬草に詳しい。

Aranea

Isle of Dread 本島の北のほうでひっそりと生活している蜘蛛人間の一族。人間姿の時は、美男美女が多い。かなり古くから Isle of Dread で生活しているが、あまり人間と関わらないようにしてきたため、歴史には疎い。

Rakasta

昔は Isle of Dread に住んでいたという武器作りの名人。だが、その最後の一族も数年前に滅び、彼らを守護していたコアトルも PC 達に殺された。